



SUBARU



CSRレポート
Corporate Social Responsibility Report

2014

目次

- 2 | **編集方針**
 - 編集方針
 - 報告対象
 - その他の情報
 - 第三者意見をいただいて

- 4 | **トップメッセージ**

- 6 | **富士重工業グループについて**

- 9 | **特集**
 - クルマづくりを通じて
社会課題の解決に貢献する

- 24 | **富士重工業グループのCSR**
 - 企業理念
 - 企業行動規範
 - CSR方針
 - CSR活動8項目
 - CSR推進体制
 - ステークホルダーの皆さまとのかかわり

- 29 | **お客さま・商品**
 - お客さま満足度向上への取り組み
 - 品質マネジメント
 - 安全なクルマづくり
 - 福祉車両への取り組み

- 39 | **従業員**
 - 人材育成の取り組み
 - ワークライフバランスの取り組み
 - ダイバーシティの取り組み
 - 労働安全衛生
 - 健康づくり
 - 労使コミュニケーション

- 48 | **環境**

- 55 | **コンプライアンス**
 - コンプライアンス活動の徹底
 - コンプライアンスの体制と運営

- 59 | **情報公開**

- 61 | **社会貢献**
 - 社会貢献の基本方針
 - 国内での取り組み
 - 海外での取り組み

- 68 | **調達**

- 70 | **コーポレート・ガバナンス**

- 102 | **CSRレポートを読む会**

- 104 | **第三者意見**

環境報告書

- 環境ビジョン
- 環境マネジメント
- 環境に配慮したクルマ
- 工場・オフィスの取り組み
- 物流の取り組み
- 販売の取り組み
- 自動車リサイクル
- 環境コミュニケーション
- グローバルでの取り組み
- 環境データ

ガイドライン対照表

- GRIガイドライン
- ISO26000

編集方針

編集方針

本レポートは、富士重工業株式会社・国内関連会社・海外関連会社のCSR（企業の社会的責任）の取り組みをご紹介します。お客さま・株主の皆さま、お取引先・地域社会・従業員などのステークホルダーとコミュニケーションを図り、取り組み内容のさらなる向上を目指すことを目的としています。

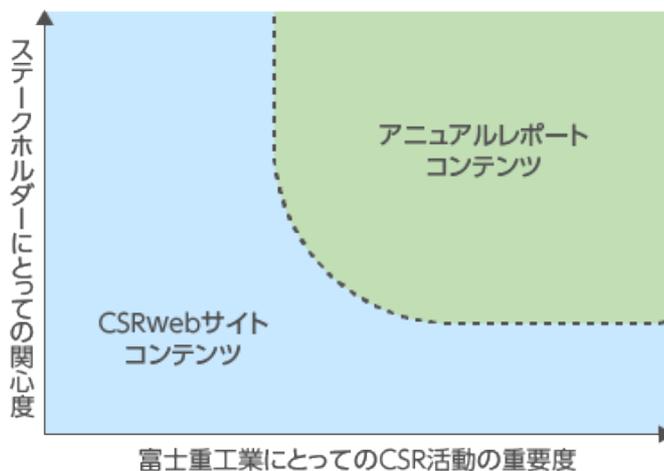
「特集」では、ステークホルダーの皆さまに特にお伝えしたい、富士重工業グループの特徴的な取り組みを掲載しています。「富士重工業グループのCSR」のパートでは、富士重工業CSR活動8項目（お客さま・商品、従業員、環境、コンプライアンス、情報公開、調達、社会貢献、コーポレート・ガバナンス）に沿って、CSRの取り組みについて報告しています。

報告メディアについて

富士重工業株式会社CSRレポートは、当社の取り組みをより多くのステークホルダーの皆さまにご理解いただけるよう2013年版よりCSR活動情報をアニュアルレポートに統合し、また、環境負荷に資する取り組みとして掲載メディアをwebサイトに移行しました。なお、webサイトの情報をPDF版として、ライブラリーにも掲載しております。目的に応じてご利用ください。



報告メディアの考え方



報告サイクルについて

昨年度の富士重工業グループによるCSR活動を取りまとめ、年次ごとに報告いたします。

報告対象

対象組織

富士重工業株式会社を中心に、国内グループ会社や海外グループ会社について報告をしています。

参考としたガイドライン

- GRI「サステナビリティ レポーティング ガイドライン（第3版）」
- ISO26000
- 環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」
- 環境省「環境会計ガイドライン（2005年版）」

対象期間

- 2013年度（2013年4月～2014年3月）の実績と一部それ以前の取り組みや本レポート発行直前までのものを含みます。
- 本レポートにおける所属、役職等は、すべて取材当時のものです。

見通しに関する特記事項

本報告には、富士重工業株式会社ならびに、富士重工業グループ各社の将来の見通し、計画、予測などさまざまな情報が含まれていますが、これらは過去の事実や現在入手可能な情報に基づいたものであり、将来の経済の動向、当社を取り巻く事業環境などの要因により、大きく異なるものとなる可能性があります。ご了承いただきますようお願い申し上げます。

発行時期

- 前回発行 2013年8月
- 今回発行 2014年7月
- 次回発行予定 2015年7月

その他の情報

- ▶ [富士重工業株式会社トップページ](#)
- ▶ [企業情報（会社概要）](#)
- ▶ [株主・投資家の皆さまへ](#)
- ▶ [82期 有価証券報告書](#)
- ▶ [82期 事業報告書（ファイナンシャルレポート）](#)

お問い合わせ先

富士重工業株式会社
経営企画部
総務部 環境推進室

- ▶ [本サイトに関するご意見・ご感想はこちら](#)

アンケートへご協力をお願い

富士重工業株式会社は、皆さまからのご意見をいただき、CSRの取り組みや報告書内容の充実をはかるとともに、社会やステークホルダーとのコミュニケーションを進めてまいります。本レポートや取り組みについて、ご意見、ご感想をお寄せくださいますよう、お願いいたします。

- ▶ [富士重工業株式会社CSRレポートアンケート](#)

第三者意見をいただいて

2013年9月、奥教授には貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

富士重工業グループは事業を通じて持続的な社会の発展に貢献することが使命と捉え、企業理念の1つである「私たちは常に人・社会・環境の調和を目指し、豊かな社会作りに貢献します。」に基づき、CSR活動を積極的に推進しております。

また、昨年のご意見で富士重工業の一貫した姿勢にご理解をいただき、「Webへの移行を進めたことにより詳細情報をスムーズに確認できた」、「環境活動の進捗状況がわかりやすく示されている」という評価をいただけたことは、CSR活動において大変大きな励みとなります。

一方、いただきましたご意見・ご指摘は真摯に受け止め、2014年版では主に下記の改善に取り組みました。

今後とも引き続き改善に向けて取り組んでまいります。

CSRレポート2014の改善点

- 「活動内容について、実際の中身の確認」のご指摘については、全事業統一としたCSR調達ガイドラインや品質管理体制を開示いたしました。今後ともCSR活動内容の積極的開示に努めてまいります。
- 「ネガティブ情報を含めた情報開示」「SUBARUお客様相談センターに寄せられた意見や指摘はどのようなものであったか」というご指摘の通り、ステークホルダーからのご意見に対する取り組みはCSR活動の根幹であると考えており、2014年版レポートよりSUBARUお客様相談センターにいただいたご意見の内容とその運用について開示をいたしました。また同様に、コンプライアンス・ホットラインの運用件数を開示いたしました。
- 「環境ボランティアプランの目標見直し」については、実績評価とともに目標の見直しも行っています。今回、目標修正は行いませんでしたが、過去には目標を上方修正したことがあります。
- 「生物多様性」については、一昨々年以来ご指摘いただいておりますが、本レポート発行時点において、生物多様性と事業活動の関わり把握に着手しております。結果は来年のレポートで報告いたします。

富士重工業グループは今後とも「安心と愉しさ」をお客さまにお届けすることを通じた「社会課題解決への貢献」を必要な課題として捉え、企業市民としてCSRの遂行に努めてまいります。また、ステークホルダーの皆さまと本レポートを通じたコミュニケーションは重要であると考えております。今後とも皆さまからのご意見を頂戴できれば幸いです。

富士重工業株式会社
経営企画部
総務部 環境推進室